

研究活動に関する業績報告

氏名 塚尾 浩

2022年2月1日現在

1. 研究分野

専門領域：生体機能代行技術学、治療機器学、医療安全工学

研究スタイル：基礎研究、臨床研究

2. 研究業績（過去5年間）

分類	題名、著者(申請者含む)、発行掲載誌名/発表場所・巻号・頁、発行/発表年月など
①原著論文	<p>1. 人工呼吸器トラブルシューティング補助 AR アプリケーション開発 木原 拓馬, <u>塚尾 浩</u>, 小川 貴康, 有阪 直哉, 守田 憲崇, 古平 聡, 稲岡 秀検 電気学会論文誌C (電子・情報・システム部門誌) 141(4) 514-519 2021年4月1日 (査読あり)</p> <p>2. Suppression of platelet reactivity during dialysis by addition of a nitric oxide donor to the dialysis fluid Shunichiro Urabe, Kenichi Kokubo, <u>Hiroshi Tsukao</u>, Kozue Kobayashi, Minoru Hirose, Hirosuke Kobayashi Renal Replacement Therapy 6(37) 2020年8月 (査読あり)</p> <p>3. Android OS を用いた人工呼吸器の遠隔モニタリングシステムプロトタイプの開発 木原 拓馬, 有阪 直哉, 守田 憲崇, 小川 貴康, <u>塚尾 浩</u>, 廣瀬 稔, 東條 圭一, 稲岡 秀検 電気学会研究会資料. OQD = The papers of technical meeting on optical and quantum devices, IEE Japan 2019(16) 27-30 2019年4月13日</p> <p>4. Continuous hemofiltration model using porcine blood for comparing filter life. Yoshitaka Kurihara, Shunichi Ueki, Kenichi Kokubo, Yuta Kobayashi, Tomoyo Ebine, Kaya Murakami, Yosuke Ushiroda, Naoko Maruyama, <u>Hiroshi Tsukao</u>, Kozue Kobayashi, Hirosuke Kobayashi Journal of artificial organs : the official journal of the Japanese Society for Artificial Organs 21(3) 332-339 2018年9月 (査読あり)</p> <p>5. 植込み型心臓ペースメーカとペーシングシステムアナライザのセンシング特性の差異に関する研究 松本 大亮, <u>塚尾 浩</u>, 藤原 康作, 廣瀬 稔</p>

	<p>医工学治療 30(1) 12-17 2018 年 3 月 (査読あり)</p>
②総説：学術誌の解説、講座等	<p>1. 臨床工学技士養成施設における教育上の変化と今後の課題 廣瀬 稔, 塚尾 浩 医療機器学 88 巻 1 号 2018 年 3 月 (査読あり)</p>
③著書：著書・編著	<p>1. 新 ME 早わかり Q&A 3. 呼吸療法装置. 2. 人工呼吸器の原理と構造 (担当：分担執筆) 南江堂 2018 年 (査読あり)</p>
④症例報告	なし
⑤口頭発表	<p>招待講演</p> <p>1. 医療技術の進歩に対する教育現場の取り組み 塚尾 浩 第 19 回 日本臨床工学技士教育研究会 2020 年 11 月 14 日</p> <p>2. 臨床工学技士養成校のカリキュラム改定について考える 発言 3 臨床実習について 塚尾 浩 第 5 回臨床工学技士養成教員学術研究会 2019 年 9 月 21 日</p> <p>ポスター発表 (国際学会)</p> <p>1. Influence of a change in the CRRT replenisher's temperature and pump tube material on a change in the replenisher's composition Tsukao H., Satou A, Aizawa K, Fujiwara K, Ogawa T, Hirose M The 24th International Conference on Advances in Critical Care Nephrology 2019 年 2 月 28 日</p> <p>シンポジウム (国内学会)</p> <p>1. 医看工連携が必要とされる透析医療 塚尾 浩 生体医工学 2019 年 公益社団法人 日本生体医工学会</p> <p>2. 北里大学における学生指導例と AI に期待すること 塚尾 浩 生体医工学 2019 年 公益社団法人 日本生体医工学会</p> <p>一般講演 (国内学会)</p> <p>1. 臨床工学技士養成校における遠隔講義への対応 古平 聡, 東條 圭一, 塚尾 浩, 藤井 正実, 木下 春奈, 武田 章数, 立野 聡, 大島 弘之, 守田 憲崇</p>

神奈川県臨床工学技士会誌 32 43-43 2020 年 11 月

2. 臨床実習前の OSCE 演習の学生満足度に関する調査

小川 貴康, 廣瀬 稔, 塚尾 浩, 小林 こず恵

日本臨床工学技士会誌 (69) 212-212 2020 年 4 月

3. GMA における抗凝固剤投与量の減量に関する基礎的検討

佐々木 和馬, 小川 貴康, 小林 こず恵, 塚尾 浩, 廣瀬 稔

日本透析医学会雑誌 52(Suppl. 1) 520-520 2019 年 5 月

4. 膜面積と中空糸内径が PMMA 膜材質の急性血液浄化フィルタのライフタイムに与える影響

栗原 佳孝, 植木 駿一, 小林 裕太, 後田 洋輔, 塚尾 浩, 小林 こず恵, 小久保 謙一, 小林 弘祐

日本血液浄化技術学会会誌 27(Suppl.) 160-160 2019 年 4 月

5. 顆粒球吸着療法における抗凝固剤の投与方法に関する検討

佐々木 和馬, 菊池 彩香, 小川 貴康, 小林 こず恵, 塚尾 浩, 廣瀬 稔

日本臨床工学技士会誌 (66) 165-165 2019 年 4 月

6. 膜面積と中空糸内径が PMMA 膜材質の急性血液浄化フィルタのライフタイムに与える影響

栗原 佳孝, 植木 駿一, 小林 裕太, 後田 洋輔, 塚尾 浩, 小林 こず恵, 小久保 謙一, 小林 弘祐

日本血液浄化技術学会会誌 27(Suppl.) 160-160 2019 年 4 月

7. 遠心ポンプ内の異音検出に関する基礎研究

小林 光彦, 笠原 新平, 小川 貴康, 塚尾 浩, 廣瀬 稔

医療機器学 88(2) 227-227 2018 年 4 月

8. 互換性のあるパルスオキシメータ用ディスポプローブの性能評価

廣瀬 稔, 齋藤 永莉子, 小川 貴康, 塚尾 浩

医療機器学 88(2) 294-294 2018 年 4 月

9. 持続的血液浄化療法施行時の炭酸カルシウムの微粒子析出に関する研究

佐藤 敦也, 小川 貴康, 塚尾 浩, 廣瀬 稔

医療機器学 88(2) 299-299 2018 年 4 月

10. 未来に向けた臨床工学技士養成のために今なすべきことは何か?医療機器管理の学生

	<p>教育(養成校と現場の立場から) 養成校における医療機器管理教育の現状と課題 JAEFCE 加盟校アンケート結果から</p> <p>中畑 碧, 工藤 元嗣, 鈴木 哲治, 池永 栄, 塚尾 浩, 中島 章夫, 木村 主幸, 日本臨床工学技士教育施設協議会教育委員会</p> <p>日本臨床工学技士会会誌 (63) 126-126 2018 年 4 月</p> <p>11 神奈川県内透析施設の化学的汚染物質に関するアンケート調査</p> <p>小川 貴康, 塚尾 浩, 廣瀬 稔</p> <p>日本臨床工学技士会会誌 (63) 180-180 2018 年 4 月</p>
⑥その他	<p>特許</p> <p>1. 医療用マスク</p> <p>塚尾浩, 小久保謙一, 小林弘祐, 廣瀬稔, 藤田真茂</p> <p>特開 2019-165854</p>

3. 外部研究費 (過去 5 年間)

外部研究費、代表分担区分、期間、研究経費	
臨床工学技士養成教育の質保証に資する評価体系の確立	<p>日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 課題番号 21H00912 2021 年 4 月 - 2025 年 3 月</p> <p>浅井 孝夫, 中島 章夫, 堀 純也, 塚尾 浩, 渡邊 晃広, 工藤 元嗣</p> <p>配分額</p> <p>(総額)</p> <p>17,160,000 円</p> <p>(直接経費)</p> <p>13,200,000 円</p> <p>(間接経費)</p> <p>3,960,000 円</p>
一酸化窒素 (NO) による人工肺膜表面の生体適合性の改善	<p>日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 課題番号 19K09441 2019 年 4 月 - 2022 年 3 月</p> <p>小林 こず恵, 塚尾 浩, 小久保 謙一</p> <p>配分額</p> <p>(総額)</p> <p>4,290,000 円</p> <p>(直接経費)</p> <p>3,300,000 円</p> <p>(間接経費)</p> <p>990,000 円</p>